

みやぎ移住・定住

推進県民会議

<第3回会合>

【開催要旨】

みやぎ移住・定住推進県民会議行動宣言の制定から約1年間の取組状況を報告すると共に、基調講演、事例発表等をきっかけとして、会員各位がそれぞれの立場から、創業しやすい環境づくり、子育て・結婚を支援する環境づくり、移住者が安心して暮らせる地域づくりなどについて考えていただく機会とするもの。

日時 平成29年1月25日（水）

午後1時30分から午後4時まで（午後1時より受付開始）

会場 仙台サンプラザホテル「宮城野」（宮城野区榴岡5-11-1）

次第

1 開会

2 挨拶

3 報告

平成28年度の移住・定住推進事業概要

4 基調講演

講師 株式会社瀬戸内ジャムズガーデン 代表取締役 松嶋 匡史氏

演題 「ようこそ島のジャム屋へ～地域内連携で価値を生む仕組みを創る～」

～ 休憩 ～

5 事例発表

I. 株式会社花山サンゼット 代表取締役 阿部幹司氏

II. 一般社団法人はまのね 代表理事 亀山 貴一氏

6 閉会



申込方法

裏面申し込み用紙をFAXにて、022-211-2442まで送信いただくか、tisini@pref.miyagi.jp宛て、メールにてお申し込み下さい。

問合せ先

宮城県震災復興・企画部 地域復興支援課 移住定住推進チーム
電話：022-211-2454 FAX：022-211-2442
メール：tisini@pref.miyagi.jp

講師紹介



松嶋 匡史
(まつしま ただし)

株式会社ジャムズガーデン代表取締役

山口県周防大島在住。

新婚旅行先のバリでジャムに魅了され、2003年個人事業としてジャム屋を創業。中部電力株式会社を退職後、周防大島へ完全移住し、農業部を立上げ、カフェ・ギャラリー等を併設したジャム屋として通年営業をスタートさせる。地域資源の柑橘類などを活用したジャムの製造・販売等に取り組み、2011年法人化。

2015年にはジャム屋を全面リニューアル。6次産業化優良事例表彰にて農林水産大臣賞も受賞。地域内での連携と経済的循環、雇用と産業の創出に取り組むことで、地域課題の解決と移住者の受入体制の構築に尽力し、書籍「里山資本主義」などでも紹介される。

事例発表者紹介

株式会社花山サンゼット 代表取締役

栗原市在住。

サラリーマン生活を経て保育施設を経営。東日本大震災を機に「自らを養うものを、自らの手で生み出していこう」と里山への移住を決意。地域おこし協力隊に応募し、花山での生活をスタート。

2015年株式会社花山サンゼットを設立。太陽光発電事業・農林業等を通じ、持続可能な地域づくりに取り組む。地域の先輩移住者として、地域の人的ネットワークや情報を結び付け、移住者にとって暮らしやすい環境づくりに尽力している。

一般社団法人はまのね 代表理事

石巻市在住。

宮城県水産高等学校教員を経て、東日本大震災を機に、被害の大きかった地元の蛤浜にて「蛤浜再生プロジェクト」を立ち上げる。

人口減少の進展が著しい地で「人が集まる場をつくりたい」と、2013年カフェ「はまぐり堂」をオープン。年間約15,000人の来客を集める。その他、自然体験やセレクトショップ経営など、地域資源を生かした事業を展開する。

2014年、「一般社団法人はまのね」を設立。従業員7名を雇用。移住者や交流人口の増加を目指し、プロジェクトの推進を図っている。



阿部 幹司
(あべ みきちか)



亀山 貴一
(かめやま たかかず)

申込用紙

市町村・団体名	
出席者氏名 (役職)	
電話番号	
メールアドレス	

※申込方法

FAXの場合：以上の内容をご記入の上、022-211-2442（担当：佐藤・澤崎）までお送り下さい。

メールの場合：申込用紙と同様の内容を、tisini@pref.miyagi.jp（担当：佐藤・澤崎）宛てお送り下さい。

交通案内

【電車】

- ・JR仙石線榴ヶ岡駅下車出入口2すぐ
- ・仙台市営地下鉄東西線 宮城野通駅下車徒歩12分
- ・仙台市営地下鉄東西線 連坊駅下車徒歩12分

【市営バス】

- ・新寺四丁目サンプラザ入口下車徒歩5分
(JR仙台駅西口バスプール4番のりば、鶴巻小学校行き他)

【徒歩】

- ・JR仙台駅東口より約13分
- ・地下鉄仙台駅より約23分



問合せ先

宮城県震災復興・企画部 地域復興支援課 移住定住推進チーム 担当：佐藤・澤崎

電話：022-211-2454 FAX：022-211-2442 メール：tisini@pref.miyagi.jp